



がん県民公開セミナー

女性特有のがん～乳がん、
子宮・卵巣のがん

講演集

茨城県がん診療連携協議会
茨城県立中央病院
2016年

平成 28 年度 がん県民公開セミナー 講演集発行にあたって

茨城県では、茨城県がん診療連携協議会が中心となって「がん県民公開セミナー」を水戸会場とつくば会場で毎年開催しております。第9回となった今回は、これまで取り上げて来なかったがんをテーマにしようということになり、最近増加している「女性特有のがん」をテーマに予防・診断・治療について企画させていただきました。



女性特有のがんとは、乳がん、婦人科がん（子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん）を指しております。女性の高齢者を含めた全年齢では、乳がん＋婦人科がんは女性がんの30%未満ですが、54歳以下に限ると50-60%以上を占めています。つまり、働きざかりの若い女性に多いがんなのです。そして、乳がんと卵巣がんは遺伝性乳がん卵巣がん症候群がよく知られていますし、子宮体がんは遺伝性大腸がんであるリンチ症候群で多く発生することが知られています。セミナーでは筑波大学や県立中央病院で行われている遺伝外来についても紹介されました。

2つの会場とも当日、多くの方にお越しいただくことができ、主催者として嬉しいかぎりです。しかし、当日お出でいただくことができなかった方も多くいらしたと思います。そのような皆さまのために、また、広く県民のために、両会場での講演内容を1冊の本にまとめることにいたしました。第1回から第8回のセミナーも同様に刊行して好評を博してまいりましたので、今回も必ずや皆さまのお役に立てると確信しております。

日本国民の2人に1人ががんになるという時代です。茨城県も同じ傾向にあります。茨城県民の皆さまにおかれましては、ぜひご一読いただき、ご自身のために、またご家族のために役立たせていただきたいと切にお願いいたします。

平成29年3月

茨城県がん診療連携協議会会長

茨城県立中央病院 病院長 吉川 裕之

目 次

【inつくば】

プログラム	1
講演1 『子宮頸がんから身をまもる』	2
質疑応答	31
講演2 『乳がんの診断と治療』	34
質疑応答	60

【inみと】

プログラム	63
講演1 『女性における遺伝性腫瘍』	64
講演2 『遺伝する卵巣がん、子宮体がんについて』	74
講演3 『遺伝性乳がんと乳がんの診断・治療』	91
質疑応答	99

【参考資料】

inつくば アンケート結果	106
inみと アンケート結果	111
配布チラシ	116

※ 個人情報や著作権等の関係で、一部スライドや写真の掲載を省略させていただいております。